

## 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構行動計画

職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全員が働きやすい環境をつくること  
によって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計  
画を策定する。

1. 計画期間 平成29年5月1日～平成31年4月30日までの2年間

2. 内容

目標1：計画期間内に、年度に発給された年次有給休暇と夏季特別休暇の合計日数  
の60%以上、及び職員の配偶者の出産に関する3日以上の特例休暇を8  
0%以上取得できるよう休暇取得を促進する。

<対策>

- 平成29年5月～ 年次有給休暇のまとめ取り促進を機構内HP等で周知する。特に、  
子供の学校行事や家族の記念日などには出来る限り休暇を取得  
するように促す。
- 平成29年5月～ 職員の配偶者の出産に関連して取得できる特例休暇（配偶者出産  
休暇又は育児参加休暇のいずれかの合計）の取得率80%を目指  
し、本人や管理職の意識改革を促す制度の検討や研修等を実施す  
る。

目標2：育児支援制度の柔軟な運用など育児環境の一層の改善を図る。

<対策>

- 平成29年5月～ 育児環境改善に関する要望調査
- 平成29年5月～ 他機関等の実情調査
- 平成29年10月～ 調査結果の分析・検討を踏まえ、育児環境改善に相応しい制度  
設計・導入準備・随時導入

目標3：ワーク・ライフ・バランスについて職員の理解を深め、それを支援する諸制  
度周知徹底と利用促進を図る。

<対策>

- 平成29年5月～ 働き方に関する制度の利便性向上、育児者に対する周囲の理解を  
深め、誰もが働きやすい職場環境を作る。
- 平成29年5月～ 研修等により管理職への理解を深める。
- 平成29年5月～ 働き方に関する制度について、説明会等を開催し利用を促進する。